

LEVEL  
1



朗読音声のダウンロード  
Audio download



よ まえ  
★読む前に Before you read

《多読の読み方》

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本語を身につけていく方法です。

次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む



《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.



わたしは、とても大きかったです。  
おお



2

わたしは赤いりんごです。  
あか

日本の北の、  
にほん きた

山田さんの畑で生まれました。  
やまだ はたけ う



1



ときどき小鳥が来ます。

わたしと話します。

小鳥はわたしの友だちです。



山田さんは、畑のりんごを

全部とりました。

そして、町で売りました。

でも、わたしをとりませんでした。

わたしは悲しいです。

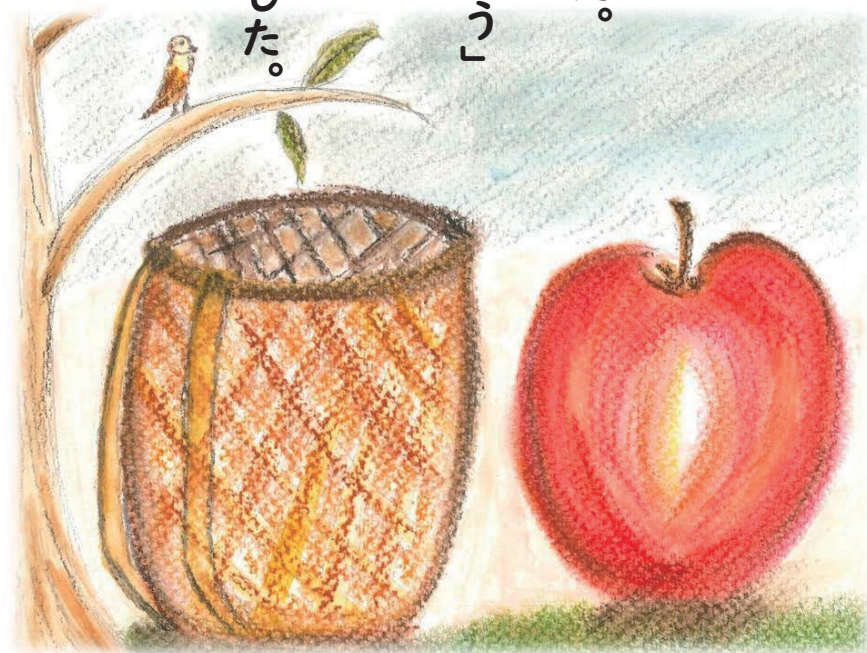


ある日、山田さんは言いました。

「このデカリんごも売りましょう」

山田さんは、

大きいかごにわたしを入れました。



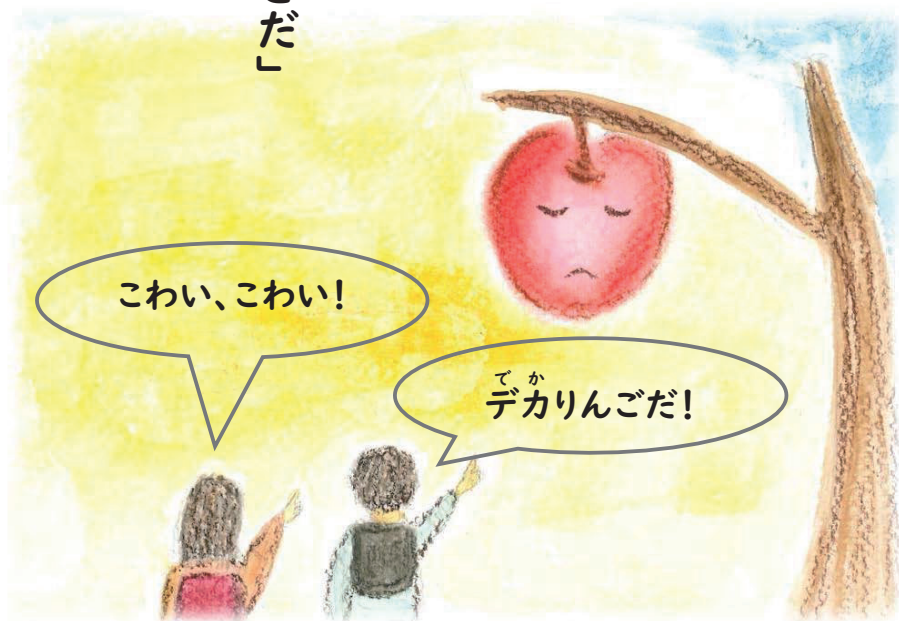
6

子どもたちは言います。

「大きいりんごだなあ」

「デカいりんごだなあ」

「デカい！ デカい！ デカリんごだ」



5



やまだ  
山田さんは言いました。  
つか  
「疲れたなあ。重いなあ」



やまだ  
わたしは山田さんと町へ行きました。  
まち  
町の人は、  
じろじろみ  
わたしたちをジロジロ見ました。  
でか  
「デカいりんごだなあ」  
まち  
町の人は笑いました。  
か  
だれもわたしを買いません。

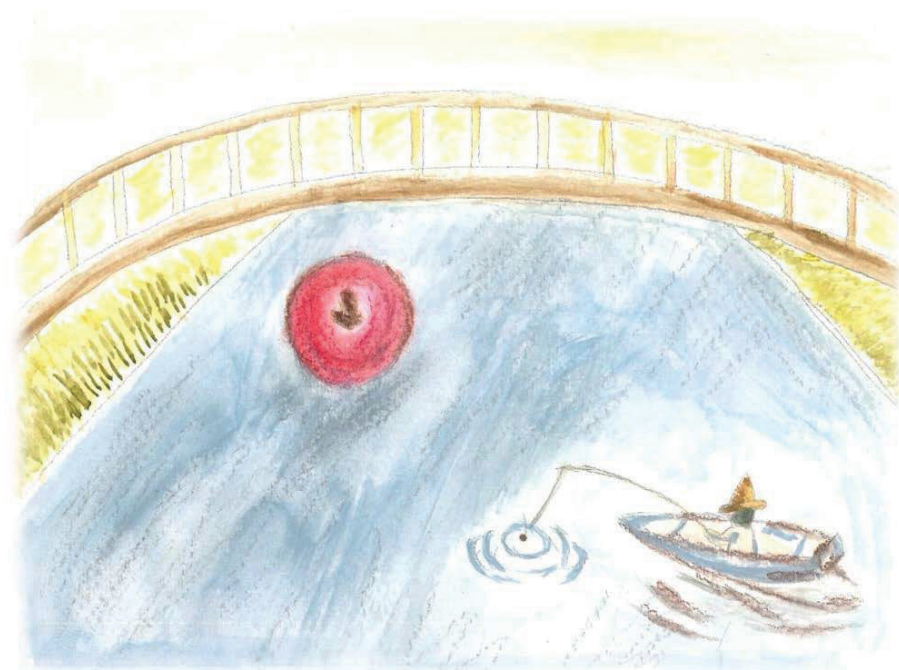


わたしは、何日も何日も  
川の中にいました。

とても疲れました。

もう夕方です。  
山田さんは、  
わたしをかごから出しました。  
そして、川に捨てました。

山田さんは家に帰りました。





島の子どもたちが来ました。

「これ、何？」

「赤いね」

「とっても大きいね」

「食べたいね」



海にきました。

わたしは遠くを見ました。

木がたくさんあります。

それは小さな島でした。



いま  
今、わたしはとても幸せです。  
しあわ



14

こ  
子どもたちは、ムシヤムシヤと  
おしやむしや

わたしを食<sup>た</sup>べました。

「おいしいね」

こ  
子どもたちは、うれしいです。

わたしも、とてもうれしいです。



13





# で か デカリんご

発行日 : 2021 年 10 月 10 日

なかのまゆこ  
作 : 中野真由子

とくなが ゆ か まつ た みどり  
協力 : 徳永由佳 松田 緑

監修 : NPO 多言語多読

この本は、NPO 多言語多読会員が読みものの作成ワークショップで作りました。



NPO多言語多読

tadoku.org



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>